

タカラバイオ株式会社 2023年3月期第3四半期決算(補足資料)

1. 2023年3月期第3四半期業績について 【決算短信 10 ページ】

(売上高)

- ・ 「試薬」は、524億6,900万円となり、前期比171億1,700万円(48.4%)の増収となりました。このうち、一般研究用試薬は215億円(前期は192億円)、新型コロナウイルス検査関連試薬は308億円(前期は160億円)となりました。
- ・ 「機器」は、10億8,000万円となり、前期比4,000万円(3.9%)の増収となりました。
- ・ 「受託」は、大型ゲノム解析プロジェクトの終了や新型コロナウイルスワクチン関連受託が減少したため、46億6,900万円となり、前期比▲28億400万円(▲37.5%)の減収となりました。
- ・ 「遺伝子医療」は、19億8,500万円となり、前期比1億9,200万円(10.7%)の増収となりました。GMPグレード試薬類等が堅調に推移しました。
- ・ 以上により、売上高は602億600万円となり、前期比145億4,600万円(31.9%)の増収となりました。

(売上総利益)

- ・ 売上構成の変化等により原価率が前期から上昇しましたが、増収の効果が大きく、売上総利益は364億3,400万円となり、前期比23億3,400万円(6.8%)の増益となりました。

(営業利益)

- ・ 売上総利益は増益となりましたが、研究開発費等に積極的に投資し、販売費一般管理費を増加させたので、営業利益は194億300万円となり、前期比▲5億2,200万円(▲2.6%)の減益となりました。

2. 2023年3月期通期業績予想(修正)について 【決算短信 11 ページ】

【業績予想の修正および配当予想修正(増配)に関するお知らせ】

(売上高)

- ・ 「試薬」は、662億7,500万円となり、前期比137億9,500万円(26.3%)の増収予想です。このうち、一般研究用試薬は301億円(前期は268億円)、新型コロナウイルス検査関連試薬は360億円(前期は256億円)と、ともに増収予想です。
- ・ 「機器」は、15億5,000万円となり、前期比3,100万円(2.1%)の増収予想です。
- ・ 「受託」は、82億4,200万円と、前期比▲31億8,400万円(▲27.9%)の減収予想です。第3四半期と同様に大型ゲノム解析プロジェクトの終了や新型コロナウイルスワクチン関連受託の減少による減収を予想しています。
- ・ 「遺伝子医療」は、26億3,100万円と、前期比3億5,600万円(15.7%)の増収予想です。第3四半期に引き続きGMPグレード試薬類等が好調に推移すると予想

しています。

- ・ 以上により、売上高は787億円となり、前期比110億円(16.2%)の増収予想です。

(売上総利益)

- ・ 売上高は増収予想ですが、売上構成の変化等により原価率が上昇するため、売上総利益は、450億5,700万円と、前期比▲41億5,400万円(▲8.4%)の減益予想です。

(営業利益)

- ・ 売上総利益の減益に加え、研究開発費等に積極的に投資し、販売費一般管理費を増加させる計画です。そのため、営業利益は200億円となり、前期比▲89億200万円(▲30.8%)の減益予想です。

(通期業績予想の上方修正)

- ・ 売上高は、機器と受託が前回予想(11月10日)を下回るものの、試薬が新型コロナウイルス検査関連試薬の伸長により、前回予想を上回る見込みです。このため、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を上回る見込みとなり、通期業績予想を修正しました。

3. 期末配当予想の修正について

【業績予想の修正および配当予想修正(増配)に関するお知らせ】

- ・ 前回予想(2022年11月10日)の1株40円から2円増額し42円に修正します。前期からは、9円の増配、配当開始以来11期連続の増配となります。

※ 当社定時株主総会(2023年6月)付議予定

4. 新型コロナウイルス検査関連試薬の状況について

- ・ 当期は、日本国内の感染者増加の影響などにより出荷量が増加しました。特に第3四半期(10月~12月)は出荷が増加しました。当社では、引き続き安定的な出荷体制を維持・継続します。

参考:新型コロナウイルス検査関連試薬売上(連結)

期間	3Q(9か月)	通期(12か月)
21/03期	70億円	130億円
22/03期	160億円	256億円
23/03期 [※]	308億円	360億円(予想)
(参考:前回予想) 23/03期 [※]	-	342億円

※ 23/03期は、PCR検査関連試薬と抗原検査キットの合算。

5. NY-ESO-1・siTCR[®]遺伝子治療薬の先駆け審査指定および希少疾病用再生医療等製品指定の承継について

- ・ 当社は、大塚製薬株式会社との契約終了(2022年11月10日発表)に伴い、上記の指定の申請者を当社に変更するため厚生労働省へ届出を行っていましたが、2023年1月20日付で承継手続きが完了しました。
- ・ これら指定の対象となる滑膜肉腫を対象とした国内第I/II相臨床試験の結果をもとに、現在、承認申請に向けた準備を進めています。

以上